

平成16年3月期 第3四半期業績の概況（連結）及び業績予想（連結）
の修正について

平成16年2月13日

会社名 アルゼ株式会社

登録銘柄

（コード番号：6425）

本社所在地 東京都

（URL <http://www.aruze.com>）

代表者 役職名 代表取締役社長

氏名 岡田 和生

問い合わせ先責任者 役職名 管理本部経理部次長

氏名 山下 茂利

Tel : (03) 5530 - 3055(代)

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

- ・会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 : 無
- ・連結及び持分法の適用範囲の異動の状況 : 無

2. 平成16年3月期第3四半期業績の概況（平成15年4月1日～平成15年12月31日）

	売上高	
	百万円	
16年3月期第3四半期	97,165	(+6.1%)
15年3月期第3四半期	91,605	
(参考) 15年3月期	137,972	

- (注) 1. 売上高は、当該四半期までの累計値であります。
 2. 記載金額は、百万円未満切り捨てて表示しております。
 3. 連結四半期決算は、当第1四半期より開示しております。前年同期の実績については月次の実績を参考にして開示しております。
 4. パーセント表示は、前年同四半期比増減率を示しております。
 5. 四半期業績については公認会計士による監査は受けておりません。

〔売上高の概要〕

当第3四半期における売上高においては基幹事業であるパチンコ・パチスロ事業における不振が大きく影響いたしました。

当社が上期に販売したパチスロ機「ゴールドX」のプログラム上の不具合が発覚し、同製品の販売停止やクレーム処理等の対応に追われる事となりました。当社は「ゴールドX」に関して導入店様との間で生じた問題が今後の製品販売に中長期的に悪影響を与えかねないことから、この問題を早期に全面解決する事が重要であると判断し、第3四半期において同製品の返品処理を行いました。

以上の特殊要因の他、競合他社による大型製品の投入が相次いだことや、当社が効果的な販売戦略を図れなかったことにより、当第3四半期の販売状況は不調に終わりました。

3.平成16年3月期の連結業績予想(平成15年4月1日~平成16年3月31日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり 予想当期純利益
今回予想値(A)	123,300百万円	25,700百万円	9,900百万円	123円82銭
前回予想値(B)	186,900百万円	56,900百万円	27,900百万円	345円72銭
増減額(A-B)	63,600百万円	31,200百万円	18,000百万円	221円90銭
増減率	34.0%	54.8%	64.5%	64.2%
(参考)15年3月期	137,972百万円	40,900百万円	17,562百万円	216円67銭

上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づく将来予測等を前提にしております。従って、確定した業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となることをご留意ください。

[今後の見通し]

通期の業績につきましては、基幹事業であるパチンコ・パチスロ事業においては、「ゴールドX」の不具合を修正した代替製品である「ゴールドXR」を大きな期待をもって市場に投入しましたが、同製品に採用した変則押しに対する過度なペナルティー機能が製品本来の特性を発揮することを阻害し、市場の評価を獲得できなかったことから、それ以降の当社の製品販売に悪影響を与えました。また当社の製品企画において市場が求める要素との間になおギャップが存在していたことと、ゴールドX、XRに起因した販売の混乱も重なって、結果的に計画を達成できず、中間決算において発表した予想を大幅に下方修正せざるをえないこととなりました。

当社は、今回の業績予想修正を真摯に受け止めており、企画・製造・販売体制の改革を迅速かつ慎重に検討しております。また業績計画に対する遅れを可能な限り挽回するため、既に以下の施策に着手しており、これらの施策は現時点において順調に進捗しております。

- * 市場動向をタイムリーに分析し、営業現場と開発が一体となって製品作りを行う場としての機械技術委員会の設置
- * 営業本部長を始めとする抜本的な人事刷新による営業体制の見直し

当社は従来からシステム、ソフトウェア、ハードウェア等の各要素技術に関する開発力は業界の中で圧倒的優位性を持っていると自負しております。今回不振となった最大の原因は当社の企画力と市場ニーズとの乖離であったことから、今後当社はコアコンピタンスである開発技術力に加え、市場のニーズが反映されるよう企画力を強化していくことで、販売実績を回復していくことができるものと確信しております。

この結果として、直近には、「シンドバッドアドベンチャー」等の有力な製品の投入を予定しており、3月には当初の実績計画の水準に回復することを見込んでおります。

当社はパチンコ・パチスロ機の完全ユニット式筐体の開発に成功しております。来期には、こうした当社の持つ要素技術や映像技術の集大成であり、市場からの大きな反響が期待される完全ユニット式筐体の20インチ全面大型液晶パチンコ・パチスロ機等の新型製品群を市場に投入して参ります。これらはパチンコ・パチスロ業界の将来の方向性を決定し、業界に新たな発展の可能性を与える画期的な業界標準モデルマシンとしてご提案するものであり、3月以降には詳細を発表させていただく予定です。

以上のとおり当社はこれからも魅力ある製品を市場に供給し続け、市場からの信頼を獲得することで、早期の業績回復を実現して参ります。

<参考>

1. 平成16年3月期第3四半期業績の概況(個別)

(平成15年4月1日~平成15年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益
	百万円	百万円	百万円
16年3月期第3四半期	81,277 (+4.9%)	27,133 (+15.6%)	28,570 (+15.2%)
15年3月期第3四半期	77,501	23,464	24,805

- (注) 1. 業績については、当該四半期までの累計値であります。
 2. 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。
 3. パーセント表示は、前年同四半期比増減率を示しております。
 4. 四半期業績については公認会計士による監査は受けておりません。

2. 平成16年3月期の業績予想(個別)

(平成15年4月1日~平成16年3月31日)

	予想売上高	予想経常利益	予想当期純利益	1株当たり 予想当期純利益
今回予想値(A)	100,100百万円	27,600百万円	12,800百万円	160円09銭
前回予想値(B)	160,500百万円	55,900百万円	28,720百万円	356円64銭
増減額(A-B)	60,400百万円	28,300百万円	15,920百万円	196円55銭
増減率	37.6%	50.6%	55.4%	55.1%
(参考)15年3月期	118,615百万円	40,622百万円	20,488百万円	253円22銭

上記の業績予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づく将来予測等を前提にしております。従って、確定した業績は今後様々な要因によって大きく異なる結果となることをご留意ください。

以上